

# 萬世大路

東北中央自動車道  
(福島～米沢北) 通信

第35号 平成25年5月 発行

## 工事紹介 ぱーと28

- ◆<sup>すさやま</sup>梓山道路改良工事  
受注者: 山和建设(株)  
工期: H25年3月～H25年9月
- ◆<sup>くわやま</sup>桑山道路改良工事  
受注者: 置賜建設(株)  
工期: H25年3月～H25年9月



～山を掘削して、土砂を運搬・盛土する工事を行っています～



道路は、急な坂道や急なカーブを極力少なくなるように設計されています。そのため、山の起伏の大きい部分は切り取る必要があります。このことを「<sup>きりと</sup>切土」といいます。

また、切土で発生した土砂を利用し周りの土地より高く盛り立てて道路を造ることを「<sup>もりど</sup>盛土」といいます。

←スパッツという機械に載せ、汚れを洗い流し、綺麗な状態で走行できるように常に心がけています。

◆<sup>くわやま</sup>桑山道路改良工事では…  
建設機械のキャビンモニターで  
踏み固め回数を確認しながら施工しています。



運転席の中にある  
モニター画面



踏み固めが終わると  
土のできあがりです

※踏み固めた位置が色でぬりつぶされ、踏み固めの回数がわかりやすく表示されます。



盛土工事では、将来様々な車両が通行しても道路が壊れないように、運んで来た土をしっかりと締め固める必要があります。締め固めは、タイヤローラーなどの建設機械を使用しますが、何回踏み固めるかは、事前に試験を行って踏み固め回数を決めています。

今回の桑山道路改良工事では、GPSを設置した建設機械で、決められた踏み固め回数を確認しています。



# 4/24 工事安全祈願祭が行われました

後半

前半

主催：東北中央道関連工事安全協議会

～安全管理確認中～



米沢市内白子神社にて・・・



◆ 各社協力をもとに安全第一で工事を進めて参ります ◆

## 現場の声

～ みなさんのさわやかな笑顔で、活気に満ち溢れています～

現場で熱心に仕事をされている方々に「仕事をしていて一番嬉しいこと」についてインタビューして参りました！



### やまわ 山和建設(株) ～ 梓山道路改良工事～



現場代理人  
横澤 一史さん

監理技術者  
渡部 光さん

**横澤さん**：高速道路整備事業の一部に携われていることで日頃より責任と自覚を持ちながら仕事をしています。将来この高速道路が開通し、施工者としても道路利用者としても楽しむことができたとき、この仕事をしていて良かったと嬉しく思うと同時に仕事へのやりがいを感じます。

**渡部さん**：建設業界の人は皆さん同じと思いますが、工事完成日です。「工事完成と認めます」との発注者側からの一言がなによりもほっとします。そのときに仕事をしていて良かった。発注者側からの意に添える物を納品出来たと思える時です。またやりたいと思える時でもあります。

### おいたま 置賜建設(株) ～ 桑山道路改良工事～



現場代理人  
竹田 忠弘さん

監理技術者  
伊藤 有二さん

**竹田さん**：工事を着手してから無事故で工事を完成させ、地元の方々に喜んで使ってもらうことが一番嬉しいです。

**伊藤さん**：私たちの仕事は、大型の重機を使う作業が多く、時には現場付近で一般の方々へ危険が及ばないように配慮することも必要になります。その中で、工事を無事故で完成させた時が至福時です。

## 高速道路の素朴な疑問

Q. 高速道路では直線よりカーブが多いのはなぜ？



A.

日本の地形は、広い平坦な土地より高い山や深い谷が多く、場合によっては重要な文化財や公共施設などを避ける必要もあり、このような障害物の影響で直線ではなくカーブで通過することが多くなります。

また、高速道路を利用するドライバーは長距離を移動する機会が多く、長い直線道路が続くと集中力が下がり、居眠りをしてしまう可能性があります。そのため、適度なカーブを造ることで、単調な運転に変化を与える効果もあると言われています。



ご意見・お問い合わせ先  
国土交通省 東北地方整備局  
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2  
TEL：0238-37-5570 FAX：0238-37-5575

